

実習用参考文献とその使い方

実習の教室には下記の文献を必要最小限として備えるよう依頼した。

人名の調査

『国書人名辞典』岩波書店 全5巻 最も有用な人名辞典

『改訂蔵書 漢文学者総覧』長澤孝三 汲古書院

『和学者総覧』 汲古書院

いずれも、号、名などの索引が有効

蔵書印のために

『新編蔵書印譜』日本書誌学大系

『増訂新編蔵書印譜』上中巻（平成25年）日本書誌学大系 上記の最新版

『篆刻字典』など篆書の字典をひとつ

『くずし字解読辞典』 東京堂 一般的なくずし字を読むために必備

出版元の一覧 堂号や通称名索引完備

『改訂増補 近世書林板元総覧』日本書誌学大系

漢籍・準漢籍は古典籍総合目録では不十分

『和刻本漢籍分類目録』 長澤規矩也 汲古書院

必読。分類や板元別の「刊印修」及び分類がわかる。

『内閣文庫漢籍分類目録』内閣文庫 昭和31年

唐本を調べる格好の目録。書名索引で引く。分類の基準となる目録。

教室には備えなかったが有効なもの

『日本古典文学大辞典』『中国学芸大辞典』『漢籍解題』『日本古典籍書誌学辞典』などは
適宜、図書館で調査。個別の文献目録も同様。

ネットで調べる

「日本古典籍総合目録データベース」

国文学研究資料館が運営する最大のDB。書籍版『国書総目録』を全点収録。

海外の日本古典籍DBとも連携

「全国漢籍データベース」

京都大学が中心となって制作。遅い、見にくいなど欠点があるが、現在日本では唯一のもの

「ジャパンナレッジ」

『日本国語大辞典』『国史大辞典』などが全項目引ける。人名・地名も完備。

「国立国会図書館」

近代以降のデータは、ここから。古典籍の画像も公開。

「WEBCAT PKUS」

全国大学図書館の総合図書目録データベース

「早稲田大学古典籍データベース」

とくに画像が多く、有益である。

「変体仮名を調べる」